

米子市感染症総合対策会議及び米子市新型コロナウイルス感染症対策本部会議 会議録

日 時 令和2年7月20日（月）午前9時30分から10時

場 所 米子市役所本庁舎4階401会議室

出席者

本部長 市長

副本部長 副市長、教育長

本部長 総務部長、防災安全監、総合政策部長、人権政策監、市民生活部次長（部長代理）、福祉保健部長、こども未来局長、経済部長、文化振興課長（文化観光局長代理）、農林水産振興局長、都市整備部次長（部長代理）、下水道部長、淀江支所長、会計管理者、議会事務局長補佐（局長代理）、教育委員会事務局長、水道局長、鳥取県西部広域行政管理組合事務局長、米子消防署長

議事

- (1) これまでの経過と課題について
- (2) 今後の取組について
- (3) その他

概要

開会（本部長）挨拶

伊木市長

一週間前に県内5例目が発生し、濃厚接触者を特定、順次PCR検査を保健所が行ってきた。現時点で市中感染は発生していないものと考えられるが、一方都市部では増加傾向となっている。

7月22日からの国のGoToトラベルキャンペーンによる、新たな観光客の流入が予想されるため、感染予防対策と社会経済活動の両立に注意を払いながら、観光客をしっかりと受け入れていく必要がある。7月に入り、各宿泊施設は概ね営業を再開し、観光客も徐々に戻ってきていると聞いている。感染予防対策と社会経済活動の両立を改めて意識する必要があり、みなさんにも両立を行っていただくよう、呼びかけたい。

鳥取県は人口約57万人のうち現時点で陽性5件であり、ほぼ完ぺきに新型コロナウイルスを抑え込んでいると言えるかもしれない。しかし、インターネット上での感染者周辺に対する誹謗中傷が発生している状況である。これは感染予防において濃厚接触者の特定に支障が出る恐れがある点や、必要以上に経済活動が委縮してしまう点

等において、非常に問題がある。人権侵害が発生しないよう、行政も働きかけていく。

(1) これまでの経過と課題について

(2) 今後の取組について

八幡総合政策部長

議事の(1)と(2)について、まとめて概要を説明。

資料1については各分野ごとに時系列で現状や課題を整理したのでご一読いただきたい。

資料2については、それぞれ7月補正予算での対応を予定している。

資料3については、国が事例で出した20の施策を掲載した。今後の市の施策の参考にしていきたい。

伊木市長

諸課題について、必要な施策を作り出していかなければならない。各部局において検討願いたい。

杉村経済部長

資料1中の各事業について補足説明する。

商工業振興資金貸付事業について、直近では申請が落ち着いてきた。事業継続応援給付金は一週間に300～400件ペースで申請が来ている。よなご飲食店応援割引券については一週間に1万5～6千枚が利用されており(6月中旬の事業開始直後は週3～4千枚)、参加店舗数に関してはほぼ新規申込は落ち着いてきた状況である。飲食業等設備投資応援補助金については申請が増えており、7月補正予算で増額対応していきたい。

伊木市長

資料3について、本市では既に着手済みのももあるが、8月以降全国の動きも見ながら、各部局で引き続き状況把握に努めて欲しい。

宮松人権政策監

感染者が全国で増加傾向であり、人権侵害の発生を防止するため、資料4のとおり米子市として3つの宣言を行う。宣言の結びで、私たちが克服すべき相手は“ウイルス”と明記した。市HP等各種媒体を通じて広報していく。

伊木市長

感染予防対策と社会経済活動を両立する場合、人権侵害に対する配慮は必要である。鳥取県内においても、感染者の職場や家族に対する非難が実際に発生していると聞いており、感染予防の施策が取りづらい状況である。

そこで米子市として、新型コロナウイルスに関する人権侵害を防ぐ3つの宣言をシンプルにまとめた。改めてみなさんに周知し、また市民の方に周知していきたい。色々な情報が飛び交っているが、常に正しい情報かどうか確認して欲しい。